



笑顔で 未来に夢を拓ける京都宅建 ～心を合わせ、力を合わせて一つになる!～

公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会京都本部

会長・本部長 **千振 和雄**



あけましておめでとうございます
本年も京都宅建をよろしく願いいたします



昨年は、コロナに始まりコロナで終わった1年でした。結果、流行語大賞も「3密」となりました。当初は「春になればインフルエンザのように収まるのではないか」等の楽観論もあり、東京オリンピックは開催できるものとして準備が進められましたが、コロナは収まるどころか勢いを増し、オリンピックの延期はもとより、あらゆるイベント、会合などに大きな影響を与えるなど、世界中でその猛威を振るってきました。世界の感染者は7500万人を超え、死者は168万人に達し、国内においても感染者は20万人、死者は2900人に達しています(12月22日時点)。コロナに対して有効で安全なワクチンや特效薬の開発がなされ、行き渡り、収束し、普通の生活が出来るよう心より願うものであります。

京都宅建の事業もコロナ禍によって様々な影響を受けました。多人数の集会在規制、自粛される中、宅建試験、宅建士講習、会員研修、納涼会、新年会等々、これまで当たり前のように実施していた事業は形を変えざるを得ず、また延期や中止となるなど大きなピンチとなりました。一方で全宅連を始め、関係各団体や行政等においては、Web会議が標準化し、時間と経費の削減にもつながりました。京都宅建では全国の宅建協会に先駆けて7月には役員150名にiPadを貸与し、会議や打ち合わせ等に支障が出ないように有効活用を要請しました。これまで会議ごとにご苦勞をおかけしてきた多忙な役員や遠隔地の役員を中心に、ピンチをチャンスに出来るよう積極的な利用をお願いいたします。

全宅連においては、今期これまでにない大変革が進行しています。昨年8月にリリースされたハトマークWeb書式作成システムは、3ヶ月で5万件近くの利用がありました。9月に大幅にリニューアルされた全宅連ホームページは、1ヶ月に約4万件のアクセスがありました。今年の2月からは、Web研修管理システムが稼働します。これまでの集合研修に代わるものとして、その運用が期待されます。さらに本年度は新ハトマークサイトの構築を始め、全宅連10万会員、40万従業者のスケールメリットを活かした全国の会員の生業支援のための仕組みづくりを展開いたします。どうぞ今年も全宅連にご期待ください。

一方、国政に目を向けますと、昨年は菅新政権が誕生しました。菅首相は「デジタル化の促進、縦割りの弊害排除、自助・共助・公助そして絆」を掲げておられます。国交省ではそれを受けて業務の非対面化、押印の廃止等早急の取り組みが伝えられています。このような流れは、私たちにとって大きなチャンスをもたらすものと思っています。本年、京都宅建は決意も新たに心を合わせ、力を合わせて一つになって、コロナを乗り越え、ニューノーマルを目指して参ります。

「笑顔で 未来に夢を拓ける京都宅建！」

本年もよろしく願いいたします！！